



前田大使による学校訪問及び機材供与

9月1日、前田大使は、ビシュケク市第88番ボブ洛夫名称学校（#88 School named after K. Bobulov）の始業式（the first bell ceremony）に参列するとともに、日本政府の支援で同校に供与された11台のパソコンが設置されているIT教室の開設式典に出席しました。

日本政府は UNICEF と連携し、令和3年度無償資金協力「新型コロナウイルス感染症の影響を受けた児童の質の高い教育確保計画」を実施しています。本案件は、オンライン授業に参加することができなかった児童を対象とした補習、教員向けの研修、IT 機材の供与等を通じ、児童間の学習機会の格差を低減するものです。同時に、衛生機材・設備の供与や衛生習慣に関する研修を行い、安全で清潔な学習環境を確保します。

本案件は、全国460校20万人の児童及び1万人の教員を対象としています。

前田大使は、日本とキルギスは新型コロナウイルス感染症流行による休校という困難を共有しており、パンデミックを2度と起こさないため、また万が一発生した場合に備え、日本政府はキルギスの児童を支援すると述べました。

また報道各社とのインタビューでは、日本の学校における衛生教育の取組み等につき紹介しました。

